

## 脱温暖化2050研究での社会像

Scenario A	Scenario B
活力、成長志向	ゆとり、足を知る
都市型／個人を大事に	分散型／コミュニティ重視
集中生産・リサイクル 技術によるブレークスルー	地産地消費、必要な分の生産・消費 もったいない
より便利で快適な社会を目指す	社会・文化的価値を尊ぶ
GDPは1人あたり年平均2%成長	GDPは1人あたり年平均1%成長
農林水産物の輸入依存度の増加	農林水産業の復権
グローバル化による生産拠点の海外移転	地域ブランドによる多品種少量生産
市場の規制緩和が進展	適度に規制された市場ルールが浸透

# 脱温暖化2050研究での社会像

キーワード	シナリオ A	シナリオ B
国内人口移動 人口減少社会の下 あらゆる地域で人 口減少	都市居住選好志向や利便性・効率性の追 求から都心部への人口・資本の集中が進 展	ゆとりある生活を求めて、都心から地方・ 農山村への人口流出が進み、人口や資本の 分散化が進展
都心部		
中心	土地の高度利用（高層化、地下化）が進 む。職住近接が可能になり、郊外から利 便性が高い中心部に移り住む人々の比率 が増加。	自らのライフスタイルに合った地域に移 り住む人が増加し中心部の人口減少。首都 など主要都市においては適正な規模と密 度が維持されており、過度なインフラ投資 は行わない。
郊外	都心部へ人口が流出するが、計画的で効 率の良い都市計画により、アミューズメ ント施設や自然共生地を適切に配置。	地方への人口・資本流出が大幅に進む。こ の結果、都市部郊外というよりは独立性高 い都市としての再生が図られる。

# 脱温暖化2050研究での社会像

キーワード	シナリオ A	シナリオ B
地方都市		
中心	人口が大幅に減少するため、中核都市としての機能を果たせない都市が増加するが、土地や資源を利用したビジネス（大規模農業、発電プラント等）の拠点として再生される都市も現れる。	地方においても十分な医療サービスや教育を受けることが可能になり、人口の減少がある程度抑制される。地域の独自性や文化が前面に出され、活気ある地方都市が数多く現れる。地域社会の意思決定の過程には、NGO や市民が積極的に参加し、理想の地域を自ら作る意欲に満ち溢れている。
農地・山間	農地、山間部においては過疎化が進展し、人口が大幅に減少する。地域の特性に応じた、土地や資源の効率的な利用に向けた取り組みが進められる。農業・林業・漁業などは民間会社などによって大規模経営され、機械化などによって大幅に省力化される中、ヒト・モノ・カネといった資源の効率的な利用が進む。一方で、国立公園に指定される地域も増加する。	農林水産業に対する魅力性が高まり、農村や山村、漁村への人口回帰が進む。低い地価を利用した個人・地域経営のもと、工夫を凝らした「おもしろい」一次産業を営む人も現れる。農業を職業として営む人のみならず、自然が豊かな地域に自宅とオフィスを構え、SOHO によって収入を得ながら、自ら家庭菜園を営み、おいしく、安全な食と健康的な生活を求める家族も現れる。

# 脱温暖化2050研究での産業構造

